

# 目 次

提言の要旨	・・・	1
はじめに	・・・	2
第1章 背景	・・・	2
1-1 市民活動支援制度の導入に至る経緯		
1-2 一宮市民が選ぶ市民活動に対する支援制度の概要		
第2章 現状と問題点	・・・	7
第3章 課題と提言	・・・	10
提言1 投票できる市民の拡充		
提言2 投票したくなる環境づくり		
提言3 1%支援制度の周知		
おわりに	・・・	13

# 提言の要旨

## 市民活動支援制度について

～1%支援制度の100%活用～

### 現状

多くの自治体は住民との協働や参画の必要性を訴え、その実現のために、自治基本条例の制定、協働のまちづくりのためのガイドライン、パブリックコメント制度及び市民活動支援制度など様々な仕組みづくりを行っている。

なかでも、市民活動支援制度は市民活動を行っている団体が、他の市民の賛同を得た場合、それが補助金額に反映される制度であり、住民がその税金の使い方を選択できる制度として、先進自治体で取り組みがなされている。

### 市民活動団体の活動支援（資金面）

#### 『1%支援制度』

個人市民税の1%を市民活動の財源とし、市民活動団体へ市民が直接、投票というかたちで選ぶ市民活動支援制度

### 課題

投票率は10%と低い  
どうするか？

より多くの市民が気軽に参加できる制度へと発展させ、いかに投票率を高めに行くかが大きな鍵となる

(最終目標)

**100%活用**

### 提言 1

投票できる市民の拡充

### 施策

- 市内の高校3年生に投票権を与える

### 提言 2

投票したくなる環境づくり

- 投票ポイント制の導入
- 住民基本台帳カードとのコラボレーション
- 制度紹介や投票ができるブース等を設置

### 提言 3

1%支援制度の周知

- 条例改正に基づく制度広報の義務付け
- 1%支援制度サポート団体との協働事業による広報活動